

都島区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第13号

平成30年3月発行

ごみのゆくえを知ろう！ バスで行く施設見学会



【北港処分地・展望台】



【舞洲工場前】

平成30年3月5日、廃棄物減量等推進員さんを含め40名で、北港処分地・舞洲工場の見学会を行いました。

参加者の皆様には、ご家庭から出されたごみが、どのように処理をされているのかを見学していただきました。

北港処分地の広さは、385万㎡あり、うち約73万㎡（甲子園球場の約1.9倍）がごみの最終処分地として使用されており、造成中の夢洲の現状を体感していただきました。

また、舞洲工場では、パッカー車が運んできたごみが、焼却されて灰になるまでの流れ、焼却の際に発生する余熱利用等、公害対策も含め、最新の技術を目の当たりにしていただきました。



【北港処分地（大規模な夢洲メガソーラー）】

「大阪ひかりの森」プロジェクトHPより

一日、600台の収集車両が搬入し、工場のクレーンは、収集車両6台分のごみを1回で掴めます。

「大阪ひかりの森」

標準的なご家庭の電力消費量の約3200世帯の発電をします。



【独創的な外観の舞洲工場】

当日は、北港処分地に到着すると雨もやみ、展望台で大阪港の360度の景色を見た後、処分地内をバスで移動し、2025年万博やIRの予定地の現状等も確認していただきました。

粗大ごみ処理設備を併設している舞洲工場では、粗大ごみを破砕して、鉄とアルミを分別回収しており、その仕組みについても、誰でも操作できるUFOキャッチャーで楽しく体験していただきました。

今話題の処分地と焼却工場を組み合わせ、ごみのゆくえを知っていただく大変好評な見学会となりました。

「第7期都島区廃棄物減量等推進員さんの皆様へ」

平素は、当局の事業各般にわたり、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、本市では、平成15年10月に「大阪市廃棄物減量等推進員（愛称：ごみゼロリーダー）」制度を創設し、第7期（平成28・29年度）については、地域からご推薦をいただき、全市域で、約4,000名の方々に委嘱し、地域におけるごみ減量の普及啓発や実践活動に取り組んでいただきました。

おかげをもちまして、本市のごみ量も着実に減少してきており、これもひとえに、ごみゼロリーダーの皆様のご2年間にわたるご尽力の賜物と感謝をしています。誠にありがとうございました。

今後とも一層のお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。



《編集・発行》

大阪市環境局 北部環境事業センター

大阪市北区同心2-8-14

TEL:06-6351-4000 FAX:06-6351-4049

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

